



商 工 会 報

あ ち

第 79 号

発行 阿智村商工会
電話0265-43-2241

編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)

URL: <http://www.achimura.com/> メール: info@achimura.com



新春講演会でのセーラ・マリ・カミングス先生

今年度の新春講演会が昼神
ブランドホテル天心にて、(株)
榎一市村酒造場の社長のセー
ラ・マリ・カミングスさんをお
願ひして『阿智村の元気で
豊かな地域づくりのために我々
は何をすべきか』との演題で
講演をしていただきました。

セーラさんは昔ながらの伝
統文化が未来につながってい
くこと、日本の伝統行事の重
要性、一人でできることは限
られている、人とのコミュニ
ケーションを取り、人との絆
が大切であることなどを講演
されました。

セーラ・マリ・カミングスさんを招いて

新春講演会と新年会開催

副会長 田 中 登

講演前に
セーラさん
に村の様子
を見ていた
だきました。
この村は昔
ながらの文
化が残って
おり、その
中で新しい
人達も歓迎
していけば
もつと発展
できるので
はないか、
人と人との
絆づくりの
タイムリングが非常に大事にな
ると言っていました。

セーラさんは今まで行って
きた酒づくり、また町おこし
の経験談のなかで、何かをし
ようとすると必ず反対する人
が出て来るが、その人達の意
見もありがたいたいと思つて受け
止め、目標に向かつて強い信
念をもつて進むことが必要だ。
また同じ目標を持つ人を一人
でも多く増やす事により大き
な力が生まれると言っていました。
この村においてもいろいろ
な業種の人達がいるわけですが、それぞれの業種ごとの目
標で進むのではなく、異業種
間の交流をもつて皆が一つの
目標に向かつて進み、また反
省することによって少しずつ
よりよい地域づくりができる
と思えます。



新年会で青年部員と踊るセーラ・マリ・カミングス先生



商工祭で茶室の披露とお茶のサービス

茶室やB級グルメも登場した

第12回 商工祭

総務部長 大下晃平

第十二回商工祭を第四十二回阿智祭と村政五十五周年記念と共に会員の皆様、役員、関係各位の協力のもと、無事盛大に開催することができましたが、経済情勢は、ますます

す厳しさを増し会員の減少が見られるようになりました。平成十六年第五回商工祭に、雨水のリサイクル、特許手軽ポンプの実演など、工業・建設業部の環境に関する手作り物で賑やかでしたが、今回片桐会長は「太陽の光と熱・雨・風など天からの贈り物、木材など各種生物、こうした恵まれた環境の中で化石燃料など数十年で使い果たそうとしている、原子力と共に害も多い。自然を壊さないでエネルギーを作り出す。今求められているのはこうした環境関連技術の研究など少々コスト高になってもありのままの自然と害のない本物指向となっていくのでしょうか」と挨拶され、それがもう現実となってきたと感じました。

今回もおなじみのふくまるくんカード加盟店会、青年部、女性部、会員による飲食やゲーム、特産品の販売、工建部会が昨年同様伝統工法による茶



商工祭名物宝投げ

室の建築展示、林業研究会体験、苗木の配布、そして新しく、ふるさと・いなかの味阿智の旨いもの、食の祭典B級グルメコンテストのPRのためのプレイベントなどで賑やかなお祭りとなりました。

今回は村政五十五周年記念と阿智祭との協力のなか、早めの時間ですが恒例の宝投げで締めくくられ、お客様には大変満足していただいたものと思えます。商工会ではこの元気を保持しましたまだ続く不況に負けず希望をもって活気ある地域づくりに邁進する所存です。最後になりましたが、商工祭に協力いただいたすべての皆様、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

商業サービス業 部会だより

B級グルメコンテスト 初代グランプリは 東紅苑の『ラーメン』

阿智村B級グルメコンテスト実行委員会では、「安くて、旨くて、地元の人に愛されてい



12月10日のB級グルメコンテストオープニングイベントの様子

店し、阿智村のB級グルメを味わっていただきました。コンテストの方法は、参加十九店舗のうち最低三店舗は食べ歩いていただき、一番気に入った料理を投票用紙に記入し投票するという方式です。その結果、栄えあるコンテストの優勝者は東紅苑さん

る名物料理」をB級グルメと定義して、第一回阿智村食の祭典B級グルメコンテストを平成二十三年十二月十一日、平成二十四年二月十二日まで実施しました。期間中、コンテスト参加店には村内外から多くのB級グルメファンが来

で、料理は『ラーメン』でした。今回は第一回目ですので事前に『ブレイクイベント』や『オープニングイベント』を開催し周知に工夫を凝らしましたが、地域の方々には十分浸透しなかつたようです。今後継続して実施し、知名度を上げていきたいと思

菊芋の漬物試食会開催 牛山百合子さんが グランプリ

グランプリ



12月10日 菊芋漬物試食会の様子

阿智村の菊芋を使った漬物を提案し、将来的には、飲食店のお通しや旅館のお茶請け、さらには、食品加工会社の漬物の新製品として活用していただき、阿智村の地産地消と産業振興に資することを目的として平成二十三年十二月十日に菊芋の漬物試食会を阿智村中央公民館大ホールで開催しました。

当日は村内から応募があった七名の他、平谷村や飯田女子短大、下伊那農業高校の参

加もいただき合計八名二団体の皆さんの菊芋の漬物が出品され、会場に来場した村民の皆さんに試食していただいた結果、牛山百合子さんの『菊芋の柚子味噌漬け』がグランプリに輝きました。なお参加者の皆さんのレシピは、商工会の飲食店や旅館、食品加工会社に提供し活用していただきました。

村内の農産物と村内の 旅館・飲食店を結ぶ 地産地消の推進

地産地消の推進

平成二十三年度、阿智村商工会では村内の農家が生産する新鮮な農産物を、村内の旅

館や飲食店で利用してもらう機会を増やし、地産地消を推進する事業に取り組みました。その結果、阿智村産業振興公社と阿智村商工会の間で覚書を交わし、今後村内の旅館や飲食店から村内の農産物を食材として利用したいという要望が商工会にあった場合は窓口となり、阿智村産業振興公社と連絡を取り合いながら対応することになりました。

村内の高齢者らに お買い物に関する アンケート調査を実施

昨年の秋に民生委員の方の協力をいただき、村内の高齢者らを対象にした「お買い物物に関するアンケート調査」を実施しました。

この調査の中で、商工会とふくまるくんカード加盟店会が共同で実施している『ふくまるくん宅配』についての利用の有無についても訊ねていますが、自分で買物ができるうちは『ふくまるくん宅配』は頼まないと回答した方が、七十四%にも及びました。このアンケート結果を今後村内の高齢買物弱者の支援に活かしていきたいと思

工業建設業部会だより

とよた 産業フェスタ

阿智村の産業にとつて様々な面で重要な豊田市の産業フェスタへの出展は本年が三回目。

十月一日・二日の二日間、工建部では昨年の木造建築展示から趣向を変えて本年は茶室の展示を行いました。組み立て式の茶室展示はその巧みな技と呈茶の無料サービスも相まって大勢の来場客があり大変好評でした。

茶室を作るにはもちろん茶道の心得も必要で、阿智村の匠の皆さんは茶道の基礎から学び茶室づくりを研究しました。

今年は茶室を一棟でも売ろう、と意気込んでの展示で、興味を持つお客様も多数おられましたので説明にも一段と熱が入りましたが成約には至らず。茶室は現在、浪合地区

に保存されており、今後の展開に期待が持たれます。

また同時出品された林屋材木店では震災チャリティーを兼ねた木工製品などの展示即売が好評でほぼ完売。収益金は商工会を通じて被災地へ寄付させていただきました。

そのほか「あちの里」「すえひろあん」「ちさと東」などが出展され、りんごなどの特産物や加工品を多数販売。昨年以上に多くの来場客があり例年になく多くの売り上げを上げることができました。



とよた産業フェスタ

住宅

リフォーム

村民の住環境の向上と地域経済活性化のため今年度から創設された住宅リフォーム補助金および耐震リフォーム補助金ですが、申請内容の審査は商工会の審査委員会が担当しており、毎月二回の審査会を実施しております。

二月十五日までに住宅八十八件で八八〇万円の補助金、耐震八件三六五万円の補助金が申請されました。工事額は総計八・三六八万円以上の工事が村内事業者にもたらされたことになり、村民の生活上と村内経済にとつて大きな効果があったと言えます。村にはぜひ新年度も引き続き同補助金が継続されることをお願いいたします。

ジビエ視察

清内路地区の建設中の獣肉処理加工施設の活用を考えるため商工会ではジビエ(獣肉)加工企業の視察を企画。食品加工業者、猟友会、村関係者などに参加していただき、千葉県でジビエ肉の加工販売に挑戦している万星食品(株)を視察しました。

万星食品では長崎県の猪肉の加工を試作、自社の販売店でカット肉を販売するとともに自社営業の飲食店でもしゃぶしゃぶ肉として提供。会長さんの説明を聞

いた後、我々もさつそく試食をいただきました。猪肉は身がしまっており脂が少なくヘルシーですが、さらに海鮮など一緒に食するなど工夫がされていました。阿智村でも加工施設の完成後は商工会もその活用積極的に協力をしたと思います。



ジビエ研究のため万星食品を視察

平成23年度も専門分野別・業種別の 講習会を開催しました

商工会の実施する講習会は、「集団指導」と「個別指導」に大別されます。さらに「集団指導」の講習会は「専門分野別講習会」と「業種別講習会」に区分されます。

講習会は小規模事業者にとって情報収集の貴重な場であり、知識や技術を身につけるいい機会でもあります。平成23年度に実施した「専門分野別講習会」と「業種別講習会」の代表的な講習会を紹介します。

情報化講習会 等々

阿智村商工会では情報化講習会等に力を入れ、設備機器等も充実させてきました。今年度も他地区に先駆けて今注目のフェイスブック講座等を開催し、会員の皆さんの情報化による経営力向上に尽力しました。

まず春には前年より好評のツイッター講座を開催。夏にはフェイスブック講座を二回シリーズで開催し、ホームページとの連携やビジネスにおける活用方法を学びました。それらと併行して年間を通じてのホームページ講座も実施。テーマに「儲けるためのホームページづくり」を掲げて基礎から画像加工までシリーズで開催しました。

また昨年に続いてホームページの検索エンジン対策



加藤忠宏先生の最新webマーケティング講座の様子

であるSEOについても、その専門家であるコンサルタント加藤忠宏先生を招へいし、最新のSEO対策事情や全国の成功事例を交えて講義をいただきました。

いずれも多くのご出席をいただきましたが、情報化による経営向上には終わりはありません。常に最新の情報を取り入れつつホームページやブログ、フェイスブックなどによる交流を継続させることが肝心です。

商工会では個別での情報化の相談にも応じますのでぜひご相談いただき、情報化を一層進めていただきたいと思います。

加工食品製造の品質 管理講習会

食品に関する事故や事件がマスコミに取り上げられる度に、消費者の安全安心な食品への要求は高まるばかりです。

そこで、平成二十三年七月七日と二十八日の二回シリーズで、加工食品製造業者らを対象にして、加工食品製造に絞った「品質管理」の講習会を実施しました。

講師は、クノール食品㈱の品質管理部長や北海道クノール食品㈱の社長を務めた坂本直亮先生にお願いしました。第一回目の講義では、食品



坂本直亮先生の食品製造の品質管理講習会の様子

管理点検表・異物管理と混入対策などの加工食品製造における衛生管理の基礎や、加工食品開発における体制づくり。品質アセスメントなどの加工食品製造における品質管理の基礎について研修しました。

第二回目の講義では、製造工程図・製造作業標準書・商品の品質規格の作成・製品の検査規格の作成・食品のトレーサビリティなどの加工食品製造における品質管理の基礎、賞味期限の設定、加工食品の品質表示基準・加工食品の原料原産地表示・アレルギー物質の表示・遺伝子組換え食品の表示などの品質表示のポイントについて研修しました。

事故・事件から学ぶ品質管理上の留意点や、食品衛生の三原則と微生物制御の三原則・食中毒の分類と原因物質・主要細菌の特性・洗浄殺菌マニユアルの作成・衛生

支会だより

会地支会

駒場商店街案内看板

撤去

会地支会長 倉田 英行

国道一五三号線、駒場バイパスが完成した頃から、駒場商店街を見守ってくれていた「駒場商店街入口案内看板」を、城山公園整備作業に合わせ撤去しました。

商店や昼神温泉にお客様が大勢訪れてくれた時期には、全面に看板が掛けられていましたが、ここ数年は、スポン



撤去した商店街案内看板

サーも無く寂しいばかりでしたし、鉄柱のサビもひどくなつていて、管理をどうしていくのか支会の懸案事項として引き継いで来ました。

大きな時代の流れのなかで残念ながら更新して行く事が不可能となつてしまいました。看板を建てて下さった頃の先輩会員の皆様に感謝を申し上げます。

なお取り外した看板は保管してあり、いづれ駒場地区のしかるべき場所で復活させたいと思います。

伍和支会

運動会で

露店販売

伍和支会長 玉置 清司

毎年、伍和地区では、村民運動会が十月の始めごろに行われています。

伍和支会ではこの運動会にも売店を出したり、競技種目にも参加したりしています。売店では皆でU字溝や鉄板など



運動会での露店販売

を用意してグラウンドの隅を借り、いか焼き、焼き鳥、焼きそば、それにわた菓子、ジュース、お茶等飲み物などの販売をしています。販売するには支会で露店販売の許可も取つて安全面にも注意しています。会員の人も大分若返りつなれない手つきで、いかを焼いたり焼きそばを作つて売り、十一時半すぎには完売して一安心でした。

昼すぎには商工会員の参加競技で、パン食い競走でしたが大勢の人達の参加があり、有難うございました。

伍和支会では、親睦会・運動会への参加・街路灯の点検・掃除などを行っています。地元の商工会として一層の御利用をお願いします。

智里支会

豊田市老人クラブ連合会の

方々を昼神温泉へ誘客

智里支会長 熊谷 智徳

昨年度、豊田市藤岡地区老人クラブ連合会の役員の皆さんと交流会を開催したのをきっかけに、交流の和を広げてより多くの豊田市老人クラブ連合会の会員の皆様に、昼神温泉に来ていただくように、智里支会としてツアー企画を豊田市老人クラブ連合会に提案しました。

まず、五月六日～七日の泊二日で「花桃鑑賞とタラの芽を楽しむ会」を企画したところ、十六名もの豊田市老人クラブ連合会の会員の方が園原や清内路の花桃のすばらしさに感激し、夜は昼神温泉のお宿で、熊谷耕平さんが採つ



智里支会で企画したツアーに参加した豊田市老人クラブ連合会の皆さん

てくれたタラの芽の料理に舌鼓を打つという、この時期ならではの企画が好評でした。更に、十月には「東山道網掛古道ウォーキング大会」への参加と、昼神温泉への宿泊ツアーを企画提案しましたが、あいにく先方の都合が折り合わず、実現しませんでした。今後も昼神温泉への誘客を積極的に図ってまいります。

浪合支会

苦戦しながらも

頑張っております

浪合支会長 塩沢 洵弐

浪合の人口はわずか六二四人、最近三年間で五十七人も減少（内社会減が五十三人）八自治会の中でも一番過疎地域です。

おつき合いで加入している人を含めても会員数は三十名。会員全員が地域の要職にあり、支会単独の事業はむずかしく自治会等他の団体との行動がほとんどです。

今年も夏祭りの花火大会では支会員が中心となり、当日は好天にも恵まれ人口よりかなり多くの人に来て頂き盛大に行う事ができました。又二年ごしの念願の浪合地区のみの電話番号一覧表（A



銀命水サイダーとトウモロコシドレッシング

2版)を作成、大変好評頂きました。

一方会員個々でも努力され県の元気づくり支援金を利用して、銀命水サイダーを開発。宿り木の湯の跡で、治部坂高原をにぎやかにする目的の「ずんすんの会」ができました。

さらにきくいも茶屋では規格外のとうもろこしを活用して「ドレッシング」を作り、大変好評を頂いております。会員一人一人が、生き残る事が地域を守り持続させるのだと信じ頑張っております。

清内路支会

会員は少なくても
事業は盛りだくさん

清内路支会長 野村 和男

清内路支会は会員数二十四名で、花もも祭参加、花もも



清内路名産品マップ

の苗木作り、清内路健康の森でのイベント参加、豊山町産業祭参加、炭焼き事業、女性部はおひな様祭、健康の森加工施設利用での朴葉のちまきづくり、などの事業を支会の事業として行ってきました。特に健康の森でのイベント参加は村内外の皆さんに大変好評を頂きました。女性部のちまきも毎年沢山の注文があります。豊山町産業祭では信州の果物、伝統野菜、ごへい餅も常連客が出来盛況です。炭焼き事業も昨今のエネルギー問題の一翼を担う事業と位置付けています。今年度各種団体の協力により清内路名産品マップも完成し利用客の増を期待するところです。今後景気の低迷の中会員数の減少に伴い、事業拡大が問題となりますが、少ないなりに出来る事を着実に進め、この地域の宝を支会なりに考えて行かなくてはと考えています。

女性部だより

年頭に想う

副部長 田中 千恵子

日頃は商工会女性部の活動にご協力、ご支援下さいましてありがとうございます。

昨年三月十一日の大震災による被害と、原発人災事故等で、不安な生活を強いられるおられる皆様に対し、強い気持ちで生きていかれることを心から望みます。

それにも増して社会情勢の不安感は、私の様な主婦にも五感を通して感じるのは間違いでしょうか、いいえほとんどの国民が何らかの不安を感じているでしょう。この様な中、商工会女性部の一員として何を考えて行っていくべき、商工会、地域、村を明るく夢のあるものにできるのでしょうか。



新年会での女性部のフラダンス

労を惜しまず、見返りを求めず皆で話し合い考え出したことを、一つ一つ実践して行くことしかないのではと、年頭に当たり改めて思うものです。

今後とも女性部の活動を温かく見守って頂ければ幸いです。

青年部だより

復興焼きそばで被災地支援

青年部長 齊藤 雅之

今期は、少なからず青年部の活動にも東日本大震災の影響がありました。しかし、この時だからこそ支援活動という、青年部らしい活動ができたのではないかと思います。

商工祭の時は、「復興焼きそば」と題し、被災地の商工会青年部、宮城県大河原商

工会青年部より豚肉を、茨城県古河市商工会青年部より焼きそば用の麺をそれぞれ購入することで支援致しました。



商工祭で青年部が販売した復興焼きそば

北佐久郡の御代田町商工会青年部から被災地へ支援物資提供の依頼があり、阿智村商工会青年部もこの呼掛けに参加し、米やカップヌードル、飲料水などの物資を提供しました。

それから、阿智村商工会青年部に対し経済産業省より優良青年部表彰を頂きました。色々な方々に支えて頂きながらの活動です。その全ての方々に感謝致します。

様々なお雛様が 阿智村各地を彩る

今年も『中馬ぬくもり街道ひな祭り』が、国道一五三号線沿線の根羽村、平谷村、阿智村、飯田市にかけて開催されます。

期間は、三月十一日～四月三日まで(ただし昼神温泉郷は二月一日～四月三日)です。

今年はいくイズラリーを取り入れて、西部地区三か村のお雛様巡りをしながら、くイズに挑戦して、抽選でお雛様グッズを手にすることができるといってお楽しみ付きです。詳しくは『中馬ぬくもり街道ひな祭り』のマップの末尾についている応募用紙をご覧ください。



林家所蔵の江戸～明治初期の頃の雛飾り

に『こまんばインターネット放送局』を開局し、特徴あるお雛様を展示しているお宅の紹介やイベントなどを紹介する予定です。ぜひ阿智村民の皆様、お雛様巡りにお出かけ下さい。

商工会全国大会 視察研修に参加

平成二十三年十一月二十四日に東京のNHKホールにて第五十一回商工会全国大会が開催されました。例年、この大会に併せて商工連下伊那支部広域協議会では、視察研修を企画しており、当会からは片桐会長、藤倉副会長、田中副会長、事務局の計四名が参加しました。

大会の中で、政府や国会議員らに対して、東日本大震災被災地に対する継続的な支援の実施や、中小・小規模企業対策の拡充及び支援対策の強化を最重要要望項目として要望しました。



第51回商工会全国大会

商工会の 業務災害保険 の紹介

平成二十三年十月一日から新たに『商工会の業務災害保険』がスタートしました。

- ① 従業員向けの災害補償
- ② 企業向けの使用者賠償責任補償

この保険は、
① 従業員向けの災害補償
② 企業向けの使用者賠償責任補償
の二つの補償がセットになった方が一の労働災害のリスクヘッジを目的とした保険で、補償内容は次の通りです。

① 従業員向けの災害補償

『死亡保険金』と『後遺障害保険金』があり、前者は従業員が業務中の事故でケガをし、百八十日以内に死亡した場合に保険金が支払われます。後者は従業員が業務中の事故でケガをし、百八十日以内に後遺障害が発生した場合に後遺障害保険金が支払われます。

② 企業向けの使用者賠償責任補償

従業員の労災事故により、使用者である企業等が法律上の賠償責任を負わされた場合に『損害賠償金』や『弁護士費用』等の損害に対して保険金が支払われます。

新入会員の紹介

平成二十三年八月二十一日～平成二十三年十二月十六日に商工会に入会された会員を紹介いたします。(理事会承認済)

- 三晃印刷株式会社
- 株式会社フルタ産業
- 農事組合法人 治部坂峠きくいも茶屋
- C A R R I O 渡 辺 淳 一

編集後記

今年度第二号を年度内にお届けでき、忙しい中執筆いただいた方々に深く感謝申し上げます。

一月の新年会は講演会とのセットとは言え、大勢の会員の参加が得られました。が、本会総会の出席者数より圧倒的に多い事を喜んでいい事か悩む所でもありません。本会の最高意思決定機関である総会の出席者数は、配下の各支会や部会の活動状況のバロメーターと言われることもあり、商工会活動の活性化は急務のように感じます。(虎岩良知)